



### 定例会のあらまし

平成27年9月（第3回）定例会を、9月2日から17日までの16日間にわたり開催しました。

この定例会において、11議案が提案され、その内、赤穂市国民健康保険事業特別会計補正予算など8議案については、全会一致で可決、同意し、一般会計補正予算など3議案については、賛成多数で可決しました。なお、赤穂市選挙管理委員及び補充員については、指名推選で選任しました。

また、平成26年度の決算認定及び平成26年度赤穂市水道事業会計未処分剰余金の処分については、決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査を行うこととしました。

## 市政の課題 将来の展望を

# 質す

9月16日（7名）、17日（3名）に計10名が登壇し、市政の課題や将来展望に対する考え方について一般質問を行いました。



### 赤穂城跡周辺の 復元工事の進捗について

釣 昭彦 議員



#### 問

赤穂の歴史を残す代表的な事業が約100億円といわれる事業で、平成14年に国名勝に指定されてから、整備に入り14年経過し、本丸跡の間取りが復元されたが、なぜ藩主邸の復元ができないか。また、二之丸庭園も完成のように見えるが、なぜ即時開放し、広く市民や外部から来られる義士ファンに見せないのか。

#### 答

赤穂城の藩主邸に関する資料は、間取り図が残されているのみで、当時の古写真や立面図など、復元考証ができる詳細な資料が揃っていない。また、発掘調査でも建物の痕跡を明らかにできないことから、現在のところ、国から許可される見込みはなく、藩主邸の復元は困難と考えている。



二之丸庭園の公開は、整備途中のため安全性の確保や庭園内園路が未完成のため利用者の導線が確保できないことから、非公開としている。

#### その他の質問事項

● 自然を活用したイベントについて 他

### 健康づくりへの取り組みに ポイント制を 導入してはどうか

前川 弘文 議員



#### 問

元気に働き、地域への貢献も果たしていく「活動寿命」を延ばすことができる地域社会の構築が求められます。その一つとして、歩くことや健診を受けることなどの健康づくりへの取り組みにインセンティブ（動機付け）となり、地域で使える商品券などと交換ができるヘルスケアポイントを導入してはどうか。

#### 答

赤穂市では、市民一人ひとりが主体的に取り組む健康づくりを推進するため、特定健診や各種がん検診の実施により、早期発見・早期治療に努めるとともに、市民健康大学講座の開設や、いきいき百歳体操の普及への取り組みなど、総合的な健康保健サービスの提供を行っている。ヘルスケアポイント制度は、ウォーキングなどの日頃の健康づくりへの取り組みをポイント化し、市民の健康づくりへの積極的な参加を誘導する仕組みであると認識しており、今後、市民の健康づくりへの効果や実施方法等について、先進地の事例を調査研究していく。



#### その他の質問事項

● 建設経済部への市民からの要望はどのように管理されているのか 他